


# レスポンシブル・ケア 活動報告書 2021

三菱ケミカル株式会社 広島事業所





## 保安と安全を確保し、 自然環境との調和および地域との 共生を大切にす事業所をめざして

### レスポンシブル・ケア

レスポンシブル・ケア（RC）とは、化学物質を取り扱う企業が、開発から製造・流通・使用・最終消費を経て廃棄に至る全ての過程において、「環境・健康・安全」を確保し、活動の成果を公表し社会との対話、コミュニケーションを行っていく、自主管理活動です。



## もくじ

1	事業所長ごあいさつ	3
2	事業所概要	4
3	基本方針	7
4	広島事業所RC方針	
5	「O' Take現場力25」活動	
6	事業所教育方針	
7	安全文化の向上	9
	安全成績	
	安全へ向けた活動	
	安全教育	
	協力会社とのコミュニケーション	
8	リスク管理・危機管理強化	13
	保安への取り組み	
	リスク管理への取り組み	
	保安教育	
	危機管理への取り組み—防災活動—	
9	サステナビリティ・マネジメント	17
	環境成績	
	環境保護への取り組み	
	環境データ	
	環境施設マップ	
	KAITEKI健康経営への取り組み	
10	その他の活動	25
	品質保証への取り組み	
	化学品・製品安全への取り組み	
	物流安全への取り組み	
11	地域との共生	27
	地域の皆様との直接対話	
	地域の皆様と共に	
12	さいごに	29

### 報告書概要

対象期間 2020年4月から2021年3月  
(一部この期間以外の内容が含まれています。)

対象組織 三菱ケミカル株式会社広島事業所  
(同敷地内にあるグループ会社のデータを含みます。)



# 1. 事業所長ごあいさつ

私たち三菱ケミカルは、三菱ケミカルホールディングスグループの中核事業会社として、化学を基盤とした事業活動を通じて環境・社会の課題にソリューションを提供し、人・社会そして地球の持続可能な発展に貢献する\*1「KAITEKI（カイトキ）実現」をめざしています。



2020年、新型コロナウイルス感染症の影響が全世界に広がり、経済、社会、政治、そして私たちひとりひとりの生活は混迷し、未だ終息が見通せない厳しい状況が続いています。コロナ禍を契機として人々の生活様式やワークスタイルは大きく変化しました。図らずして、テレワークやリモート会議などITを活用した働き方改革やデジタル改革が一気に加速しました。

また、地球環境では温暖化の影響と考えられる異常気象が世界各地で災害を引き起こし、人々の生活を苦しめています。二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を抑制することが世界的に急務の課題と認識され、全世界的にクリーンエネルギー調達の機運が高まってきました。

このように大きな変化の潮流が従来とは比較にならない速さで迫ってくる環境下、当社では2021年度から新中期経営計画をスタートさせました。広島事業所ではこの新中期経営計画を「O' Take現場カ25」と銘打ち、地球温暖化問題への取り組み、リサイクル技術開発による資源の有効利用、製品を通じたコロナ対策への貢献、多様な人材が活力高く働く事業所の実現など、「サステナブル（持続可能な）社会の実現」をめざした取り組みを開始いたしました。

これら事業活動の大前提となるのは、言うまでもなく、安全・安定操業、環境保全、コンプライアンス遵守です。私たちは、これらへの取り組み方針をRC方針（レスポンスイブル・ケア方針）として定め、多くのステークホルダーの皆様から信頼される事業所をめざして、保安・環境事故や労働災害の防止、環境保護の推進に積極的に取り組んでまいります。

最後に

本報告書に当事業所におけるRC活動の状況を纏め、ご紹介させていただきました。ご覧いただき、私たちの取り組みに対するご理解を賜るとともに、忌憚のないご意見・ご感想をお寄せいただけると幸いです。引き続き、ご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

三菱ケミカル株式会社広島事業所

事業所長 **常重 保則**

\*1KAITEKIとは、「人、社会、そして地球の心地よさがずっと続いていくこと」を表し、環境・社会課題の解決にとどまらず、社会そして地球の持続可能な発展に取り組むことを提案した三菱ケミカルホールディングスグループオリジナルのコンセプトです。

## 2.事業所概要

広島事業所は、1933年レーヨンステーブルのメーカーとして設立された新興人絹株式会社の工場として当地に誘致を受け、我が国初のレーヨンステーブル工場として、スタートしました。

以来、その生産品目を拡大し、現在では合成繊維（アクリル繊維）、合成樹脂（アクリル樹脂、ABS樹脂）等を原料から一貫生産する、三菱ケミカルホールディングスグループの中核事業会社の主要生産拠点として、重要な役割を担っています。

### ○所在地

広島県大竹市御幸町20番1号

### ○敷地面積

962,730 m<sup>2</sup>（福利厚生用地含）  
マツダZoom-Zoomスタジアム広島約19個分

### ○従業員数

1,742名 2021年3月現在

### ○沿革

- 1933年 新興人絹株式会社を創立
- 1934年 大竹工場操業開始
- 1952年 社名を三菱レイヨン株式会社に改称
- 1959年 三菱ボンネル株式会社広島工場 操業開始
- 1970年 三菱ボンネル株式会社広島工場を統合  
日東化学工業株式会社 操業開始
- 1983年 新合成株式会社広島工場 操業開始
- 1991年 新合成株式会社と合併
- 1998年 日東化学工業株式会社と合併
- 2009年 ルーサイト・インターナショナルと経営統合
- 2010年 株式会社三菱ケミカルホールディングスと  
経営統合
- 2017年 三菱化学株式会社、三菱樹脂株式会社、  
三菱レイヨン株式会社の三社が統合し  
三菱ケミカル株式会社発足
- 2019年 事業所名を大竹事業所から広島事業所に改称



### ○エネルギー使用量

電気 4億151万kwh/年

### ○大気排出量

CO<sub>2</sub> 58万9千トン/年

### ○水使用量

上水及び河川水 2千573万m<sup>3</sup>/年

海水 5千520万m<sup>3</sup>/年

### ○公共水域排水量

6千567万m<sup>3</sup>/年

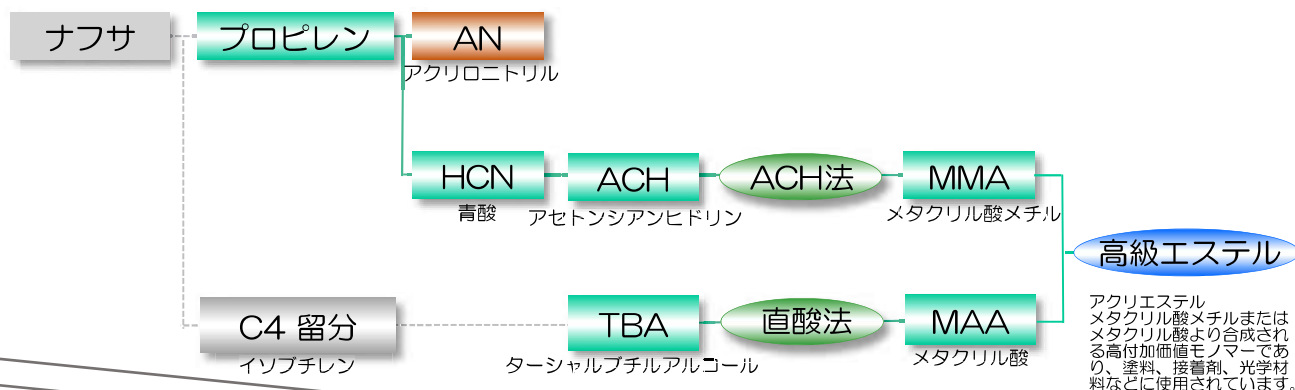
### ○グループ会社等

- 三菱ケミカルエンジニアリング株式会社
- ダイヤリックス株式会社
- テクノUMG株式会社
- エムイーシーテクノ株式会社
- MCC-SGLプレカーサー株式会社
- 三菱ケミカルシステム株式会社
- エムシーパートナーズ株式会社
- 三菱ケミカル物流株式会社

広島事業所の主要製品と用途をご紹介します。

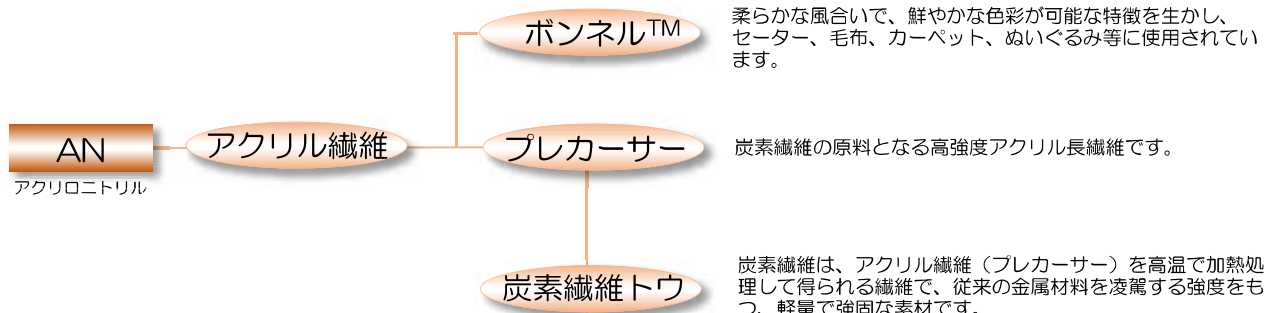
## 化成品

広島事業所の化成品製造部では、原油から留出される「ナフサ」からつくられるプロピレンやC4留分をもとに、樹脂及び繊維の原料となるAN（アクリロニトリル）や、樹脂の原料となるMMA（メタクリル酸メチル）を生産しています。



## 繊維

AN（アクリロニトリル）を原料に、コストパフォーマンスに優れたアクリル繊維「ボンネル™」や、炭素繊維のもととなる「プレカーサー」、さらに炭素繊維などを生産しています。



広島事業所で生産



ボンネル™

広島事業所で生産



プレカーサー

広島事業所で生産



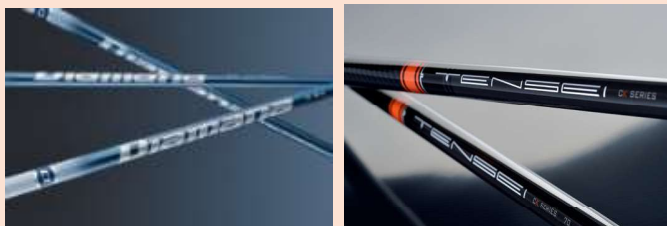
炭素繊維トウ

製品例



ボンネル™を使用した衣類

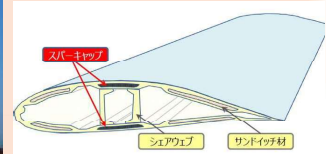
製品例



炭素繊維を使用したゴルフシャフト



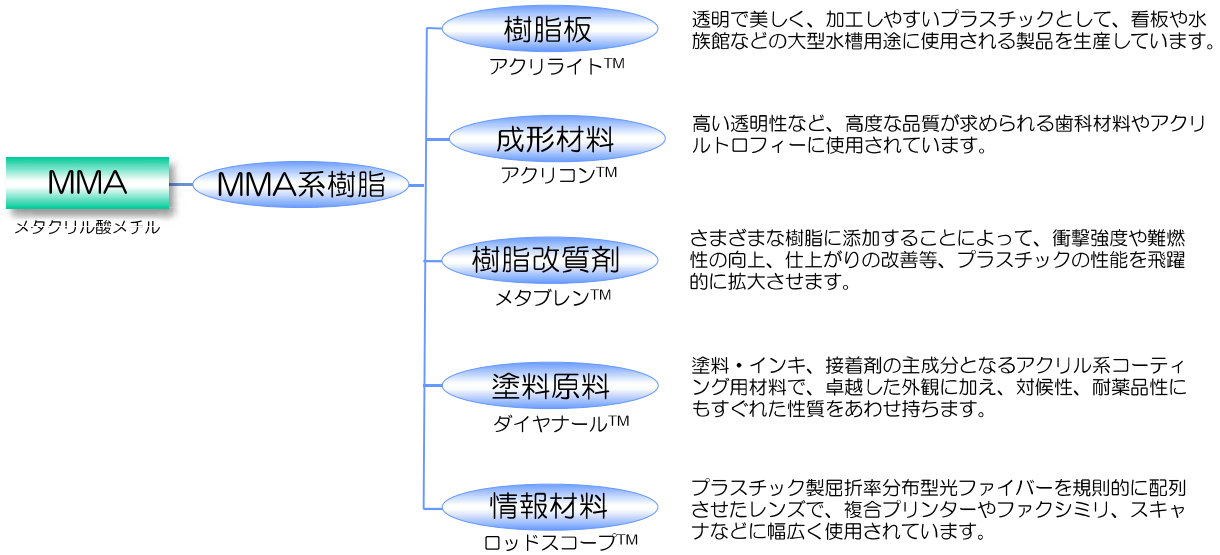
炭素繊維複合材料を使用したトヨタ車のバックドア骨格  
(画像提供：トヨタ自動車株)



炭素繊維複合材料を使用した風車のブレード

## 樹脂

MMA（メタクリル酸メチル）を核とした各種誘導体から樹脂製品を生産しています。お客様のご要望にこたえ、様々な機能をもった製品作りをめざしています。



アクリライト™を使用した水槽



ダイヤナール™を使用した  
車用アンダーコート



メタブレン™



ロッドスコープ™

## 3.基本方針

三菱ケミカルは化学産業界の自主的な環境・健康・安全を確保する活動であるレスポンシブル・ケア活動（RC活動）を推進しています。私たちは三菱ケミカルホールディングスグループ\*2企業行動憲章に則り、「保安防災」「労働安全衛生」「環境保全」「化学品・製品安全」「物流安全」を5本柱としたRC活動を推進することでKAITEKI 実現をめざします。

広島事業所のRC方針は、環境安全に関する理念や方針、品質保証及び化学品管理に係る方針に基づき定めております。その中の一部をご紹介します。

### 環境安全理念

1. 安全は企業存立の基盤をなすものであり、安全の確保は企業の社会的責任である
2. 環境保全と環境改善を企業の使命とし、人と地球に優しい企業を実現する

\*2企業行動憲章とは

三菱ケミカルホールディングスグループが社会から信頼され、持続的に発展していけるよう、企業活動のあらゆる局面において、常に高い倫理観と社会的良識をもって行動することを定めたものです。

### 環境安全に関する方針

1. 法令はもとより企業倫理を含めた社会的ルールを遵守する
2. 事故及び労働災害のゼロを追求する
3. 地球温暖化防止及び自然環境保護のために環境負荷を低減する
4. 環境安全に関する教育を行い、自らの責任を自覚し行動できる人材を育てる
5. 社会からの理解と信頼向上のために、社会との親密なコミュニケーションを図る
6. 最新技術や社内外の情報を活用し、継続的に改善する

## 4.広島事業所RC方針

広島事業所は、KAITEKI 社会の実現に貢献するため、本社「環境安全理念」、「環境安全に関する方針」及び品質保証、化学品管理に係る基本方針に基づき、RC方針を以下の通り定める。また、この方針が全ての就業者に周知され理解されるとともに、適切に実施されることに努める。

### 1. 法令はもとより企業倫理を含めた社会的ルールを遵守する

保安・環境事故や労働災害の防止、安全安定運転の実現と顧客の要求する品質の確保を可能にし、顧客の信頼や社会の期待に応えるために法令や社内規則を一人ひとりが理解し遵守する。

### 2. 事故及び労働災害のゼロを追求する

プロセスの運転管理レベルを向上させ、また設備管理の充実により、危険源に対して適切な対策を講ずることで、事故及び労働災害のゼロを追求する。

### 3. 地球温暖化防止及び自然環境保護のために環境負荷を低減する

事業活動を通じ、省資源、省エネルギーの推進、廃棄物の削減など健全な環境の維持・向上に努める。さらに、新技術や新製品の研究・開発を通じて環境負荷低減に貢献する。

### 4. 化学品に関する最新情報の収集整備に努め、化学品を適正に管理する

化学品の取扱い時や製品の輸送、使用、廃棄等における事故・災害を防止するため、化学品に関する最新情報の収集整備に努め、化学品を適正に管理する。

### 5. お客様の視点に立ち 安全で高品質な製品・サービスを提供する

お客様の望む品質をベストなコスト・タイミングで提供し、品質を継続的に改善する。

### 6. 製品の安全輸送に取り組み、物流に関するトラブル、事故、労働災害を防止する

関係会社とのコミュニケーションを緊密にとるとともに、輸送品に対する理解と安全への感度を高め、物流品質を継続的に改善する。

### 7. 社会からの理解と信頼向上のために、社会との親密なコミュニケーションを図る

地域・社会からの理解と信頼の向上のために、地域・社会との親密なコミュニケーションを図り、開かれた事業所を目指す。

### 8. 最新技術や社内外の情報を活用し、継続的に改善する

最新技術や社内外の情報を広く活用し、環境安全目標を達成するため、事業所で運用している各種マネジメントシステムを継続的に改善する。

### 9. RC推進に関する教育を行い、自らの責任を自覚し行動できる人材を育てる

「基本に始まり、基本に戻る」

環境安全理念である「安全は企業存続の基盤をなすものであり、安全の確保は企業の社会的責任である」を遂行するために、自ら考え、気づくことを重視した教育づくりで、基本を身につけ、自ら考え行動できる人材を育成する。

2020年4月1日 三菱ケミカル株式会社 広島事業所 事業所長

常重 保則



## 5. 「O'Take現場力25」活動

広島事業所ではKAITEKI社会実現のため、2021年度から2025年度における中期計画「\*3 O'Take現場力25」を策定し活動を推進しています。

安全文化向上、リスク管理・危機管理強化、設備管理強化を図り、デジタル技術を駆使して、ものづくり活動、人材育成、事業所競争力強化、サステナビリティ・マネジメントの取り組みを推し進めることで、KAITEKI広島事業所を実現します。

### \*3 「O'Take」

大竹の地にちなんで「おおたけ」と読みます。同時に、さまざまな切り口で発掘した「災害やロス」を「0：ゼロ」にしていこうという意味を込めて、「ゼロテイク」とも読みます。



## 6. 事業所教育方針

ものづくりに関連するすべてのアウトプット(製品・サービスから廃棄まで)は、関わる人の考え方により大きく変わります。「ものづくりは人づくり」といわれるように、人の成長が重要です。「O'Take現場力25」では、さまざまな「人づくり」の機会を設定しています。

### 基本方針「基本に始まり、基本に戻る」

自ら考え、気づくことを重視した教育で、基本を身につけ、自ら考え行動できる人材を育成する。

この基本方針のもと、次の2項目をテーマとして教育計画を作成し、入社後成長にあわせて適切な時期に実施しています。

- 考えるための「基本」を身につける。
- ひとりひとりが志を持って自ら考える。

広島事業所で実施しているグループ討議をご紹介します。

「ひとりひとりが考え行動できる」をめざし、積極的に議論に参加し考えるよう方向づける教育内容としています。グループに分かれ、自分の職場のリスクをシートを使って紹介し「仲間を守る」ための行動が起こせるよう、お互いに意見やアイデアを出し合うことで、多くの気づきを得ると共に、事故やヒヤリハットに対する意識の高揚を図っています。



グループ討議の様子

# 7.安全文化の向上

広島事業所では、安全を最優先する人をつくり、その集合体であるそれぞれの組織がゼロ災害達成をめざしています。

私たちは、組織に根付く安全を優先する考えや行動を安全文化とよび、これを向上する取り組みを行っています。

## 安全成績

### ■安全成績■

2020年度の労働災害は1件でした。

昨年度は事業所内で安全に業務を進めていくために必要となる規則類を総点検し、より安全性を高めていくことを目的とした改訂を行いました。

労働災害件数の推移

目標 労働災害ゼロ (件数)

年度	2017	2018	2019	2020
休業災害	0	0	0	1
不休業災害	1	1	0	0

## 安全へ向けた活動

### ■安全文化診断■

「安全第一」をスローガンとした事業所運営を行っていますが、それを日々の行動の一つ一つにおいて実践し続けていくことは決して容易なことではありません。それは、安全に対する従業員ひとりひとりの意識や事業所の風土にも関わる側面を持っているからです。自分たちが真に「安全第一」の行動をとることができるのか、安全を担保する上での課題はないのか振り返る意味で、2020年度に第三者機関による「\*1安全文化診断」を事業所従業員全員で受診しました。

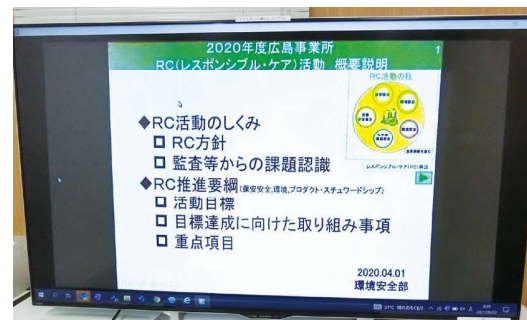
\*1「安全文化診断」  
第三者機関により診断されるプログラムであり、約100問のアンケートに対する全従業員の回答を分析することで、組織に潜んでいる課題を抽出することができるものです。

事業所運営の観点から見たとき、「従業員ひとりひとりが互いの安全を第一に考えて行動できているか」という部分に課題があることが判明しました。安全に対しては職位や経験を越えて相手の安全を第一に考えた行動をとることが重要であると認識し、事業所では「挨拶励行」を重点項目に掲げ、「ご安全に！」の挨拶を通じてお互いの安全を意識し、正すべきは正すという取り組みを開始しました。

### ■RC活動の取り組み■

新年度の活動を開始するにあたり、RC活動の\*2PDCAサイクルを回すため方針や会議体の統一化等の改善を行い、新たな仕組みで活動に取り組んでいます。

キックオフ大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事業所長、環境安全部からの講話を事業所へ配信する形で、新年度の活動をスタートさせました。



配信の様子

### \*2「PDCA」

計画を立て (Plan)、実行し (Do)、その評価 (Check) に基づいて改善 (Act) を行うというマネジメント手法の一種のことです。

## ■ デジタルサイネージ導入 ■

事業所運営で安全を強く意識づけるためには、会社・事業所トップの思いや注意すべき項目を分かりやすく事業所全体に示すことが重要です。工場で働いている方々にもタイムリーに情報を届ける施策の一つとして、デジタルサイネージの導入を行いました。事業所内の執務室や各工場の制御室、休憩室など約60箇所にモニターを設置し、安全に対する様々な情報を常に発信していくことで、日々の生産活動の間で必要な情報に触れることができるように工夫を行っています。



デジタルサイネージ

## ■ 事業所安全大会開催 ■

7月8日に第5回目となる安全大会を開催しました。

役員、事業所長による安全訓話、ゼロ災継続に向けた代表職場の活動紹介の後、現場視察と対話を行い、従業員の安全意識高揚を図りました。



安全訓話の様子



全員で安全唱和

## ■ 熱中症対策 ■

広島事業所では、毎年5月から9月の期間において「事業所熱中症対策」を展開しています。

施策は「熱中症予防 六箇条」にまとめており、個人の生活習慣、職場での安全確保において留意すべきポイントを定めています。

2020年度もとても暑い夏でしたが、事業所で働く全員が「熱中症予防 六箇条」を意識して守ったことにより、2019年度に引き続き熱中症発生者ゼロを達成することができました。

### 熱中症予防 六箇条

1. 日頃から規則正しい生活を送ろう！
2. 深酒、睡眠不足、食事抜きはやめよう！
3. のどが渇かなくても、こまめに水分・塩分補給をしよう！
4. お互いに声をかけあい、無理をせず、適度に休憩をしよう！
5. 「WBGT値による作業管理基準」を遵守しよう！
6. 体調不良時は、迷わず職制に伝えよう！



\*3

### WBGT値による作業管理基準

WBGT値(°C)	作業時の休憩 (15分以上) の目安
32.0 以上	① 原則、作業中止 (禁止) ② スポットクーラーや扇風機等で、作業環境のWBGTを下げる。 ③ 緊急避難として、クールベスト (保冷剤タイプや空気ラインを使用するタイプ) 等を着用させて20分以内の作業は認める。
31.0以上 32.0未満	30分に1回
28.0以上 31.0未満	60分に1回
26.0以上 28.0未満	90分に1回

### \*3 「WBGT:暑さ指数

(Wet Bulb Globe Temperature(湿球黒球温度))

熱中症を予防する目的でアメリカで提案された指標で、その値は気温とは異なり、湿度、周辺の熱環境、気温を取り入れたものです。